

型(N)4, 昼R3, 間食時R1, 夕R3, 夜N3 (計18単位)にて退院した。食直後に下痢が出現したが, 消化剤にて軽減した。症例2:76歳女性。平成12年5月, 膵癌(再発)のため膵全摘術施行, 退院時は各食時にR1, 夜N1(計4単位)にて退院した。症例3:69歳女性。平成11年12月膵癌にて膵全摘術施行, 現在, 朝R3, 昼R3, 夕R3, 夜N1(計10単位)にて治療中。食直後に下痢が認められ, モルヒネ水にて治療中。

【考案】いわゆるIDDMと比べ, 膵全摘後糖尿病ではグルカゴン欠乏も存在するためインスリン必要量が少ないように思われた。

2) 糖尿病患者と眼科診療—とくに眼科受診状況, 病状の認識について—

山田 幸男・高澤 哲也
平沢 由平・大石 正夫
土屋 淳之 (信楽園病院)

糖尿病患者の眼科受診を円滑に行い, また中断をなくするために, およそ2,000人の外来糖尿病患者の中602名に眼科受診状況や中断などについてアンケート調査をした。その結果, 当院の眼科にかかっている人が67.8%, 他院が32.2%で, 少なくとも1年に1回は眼科受診をしている人が88.2%であった。糖尿病網膜症といわれたことのある人は15.3%であったが, 糖尿病網膜症はないと答えた人の中, カルテを照合したところ33.3%の人に糖尿病網膜症が存在した。糖尿病と診断されても1度も眼科を受診したことのない人がおよそ9%みられた。その主な理由として, 視力低下がないため, 眼科にかかる必要がないと思った, 医師にすすめられなかった, などが上位を占めた。今後, 眼科的病状をよく説明するとともに, 前回受診日や次回予定日を記入したカードを渡すなどの工夫が必要と思われた。

3) Hypogonadotropic hypogonadism の一例

北里 博仁・津田 晶子(新潟医療生活協同)
山口 利夫・濱 齊(組合木戸病院内科)

糖尿病・心筋梗塞を合併したHypogonadotropic hypogonadism症例を経験したので報告する。30歳男性, 急性心筋梗塞入院時に身体所見およびゴナドトロピンのみ低値よりゴナドトロピン単独欠損症を疑われ, 四重負荷試験のLH-RH単回投与でLH・FSH分泌の低反応より視床下部性ゴナドトロピン単独欠損症と診

断。短時間でのLH-RH頻回投与によるLH-RH負荷試験はLH-RH単回投与とほぼ同一結果であった。今後は, 長期間にわたる性ホルモン低値に伴う骨代謝異常などに注意して経過観察をする必要がある。

4) PTUによる過敏性血管炎の1例

新沼亜希子・田村 紀子(新潟市民病院)
百都 健・田中 直史(第二内科)

【症例】28歳, 女性。【主訴】発熱, 耳介の腫脹と出血斑, 眼球結膜炎, 関節痛。【現病歴】H7年からH11年4月までバセドウ病にてPTU内服していた。H12年4月, バセドウ病再燃を認め, 4月下旬よりPTUを再開した。5月27日頃より39度台の弛張熱, 左耳介腫脹と出血斑, 両側肩関節痛, 左眼球結膜の充血, 甲状腺のびまん性腫大を認め, 精査目的に当科入院した。

【経過】白血球数の減少, CRP軽度増加, 免疫学的検査ではMPO-ANCA807EUと高値を認めた。上強膜炎, 様々な皮疹等血管炎を示唆する所見を認めたことより, MPO-ANCA関連血管炎の範疇に入ると考え, PTU内服を中止した。その後速やかに解熱し, 症状は軽快した。【考察】PTU使用中に発症したMPO-ANCA関連血管炎症候群の報告が散見されるが, 腎病変, 肺胞出血の報告が多く, 皮膚血管炎はまれである。MPO-ANCA関連血管炎の原因として, PTUなどの薬剤を念頭に置くべきであると考えられる。

5) 抗利尿障害の臨床

鴨井 久司・金子 晋(長岡赤十字病院)
第二内科

6) 難治性肺クリプトコッカス症を合併した巨大下垂体腫瘍によるCushing病の一例

五十嵐智雄・宗田 聡
小林 千晶・阿部 英里
丸山誠太郎・戸谷 真紀
上村 宗・金子 晋
鈴木 克典・羽入 修(新潟大学)
中川 理・相澤 義房(第一内科)
中村 元・筒井奈々子
田邊 嘉也・塚田 弘樹(同)
下条 文武(第二内科)
森井 研・田中 隆一(同 脳神経外科)

症例は72歳女性。十年來の高血圧症あり。1998年より